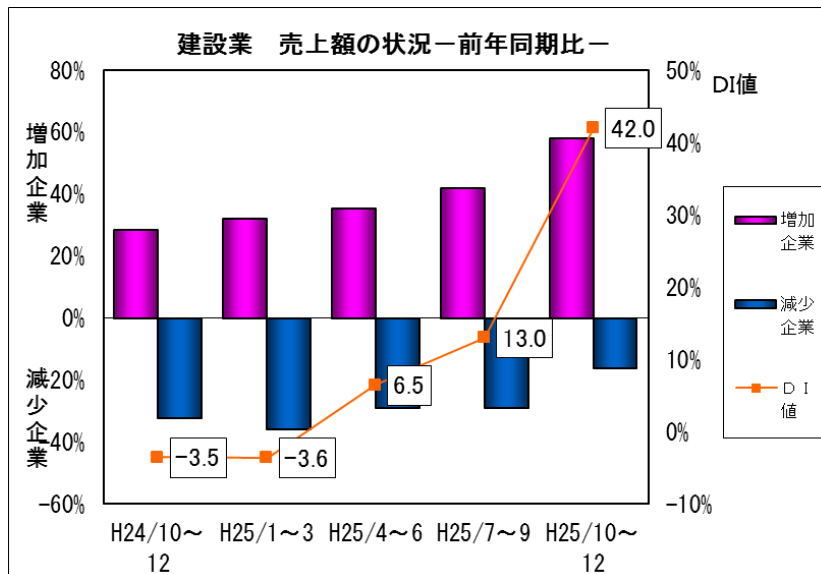




(2) 主要項目の概況（前年同期比）

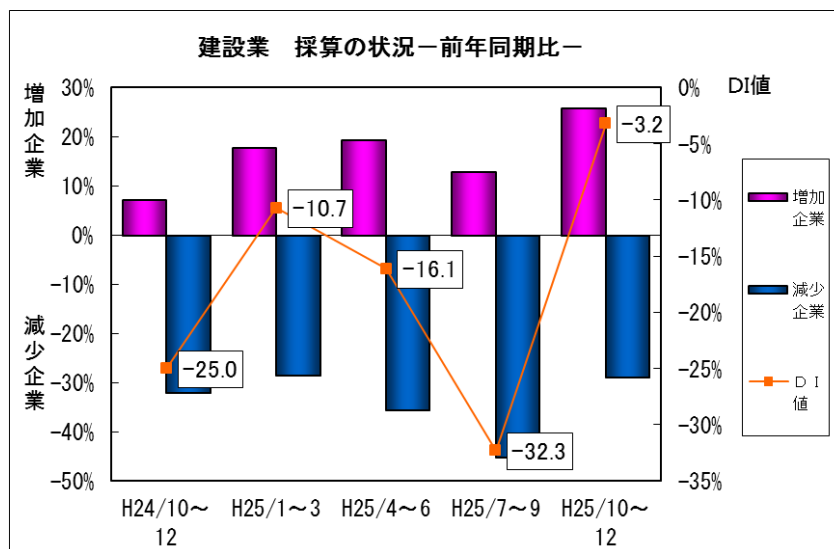
①完成工事額（前年同期比）

今期の完成工事額D I値は 42.0。前期の 13.0 から 29.0 ポイント上昇している。来期見通しは 9.7 と下落する見込み。



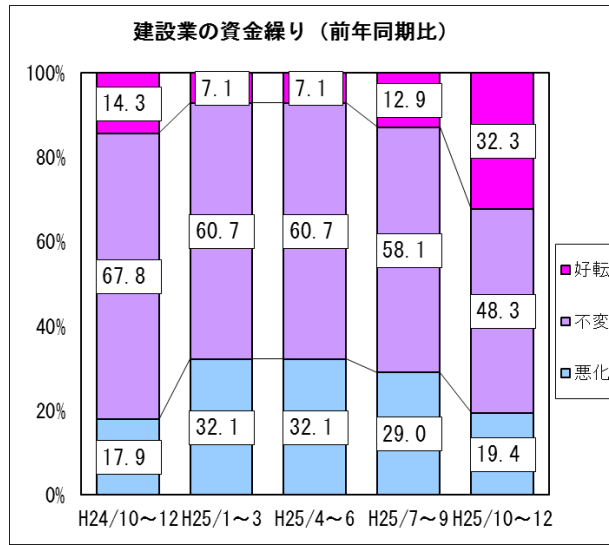
②採算（前年同期比）

今期の採算D I値は、マイナス 3.2。前期のマイナス 32.3 から 29.1 ポイント上昇した。来期見通しは、マイナス 12.9 と下落の見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I値は、プラス 12.9。前期のマイナス 16.1 から 29.0 ポイント上昇した。来期見通しは、マイナス 3.2 と下落の見込み。

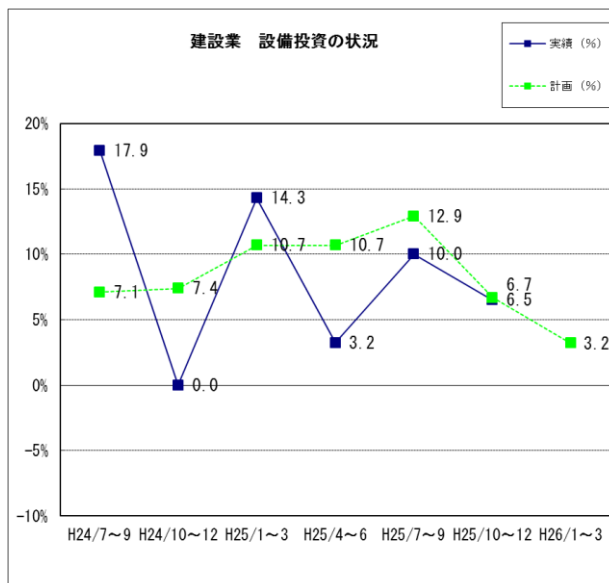


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投 資 内 容								なし
		土 地	建 物	建設 機械	車両・ 運搬具	付帯 施設	OA 機器	福 利 厚 生 施 設	その他	
前期実施 (実数)	3	0	0	1	1	1	1	0	0	27
(%)	10.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	90.0
今期実施 (実数)	2	0	0	2	1	1	1	0	0	29
(%)	6.5	0.0	0.0	100.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	93.5
来期計画 (実数)	1	0	0	0	1	0	1	0	0	30
(%)	3.2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	96.8

今期設備投資を実施した企業は 2 社（6.5%）。前期（平成 25 年 7～9 月期）の実施企業 3 社（10.0%）から減少。来期は 1 社（3.2%）が設備投資を計画している。



### ⑤経営上の問題点

今期、経営上の問題点として建設業が一位～三位にあげる項目は、

- ・ 「請負単価の低下、上昇難」 (前期 34.5%→今期 44.4%)
- ・ 「材料価格の上昇」 (前期 37.9%→今期 29.6%)
- ・ 「従業員の確保難」 (前期 10.0%→今期 29.6%)
- ・ 「官公需要の停滞」 (前期 27.6%→今期 25.9%)

となっている。

